

# キャリアに拓く 2年生の活動

訪問先 地域学部・農学部・工学部

鳥取大学附属小学校では、大学の学部や研究機関、地域の施設等と連携して学びの場をつくり、子供のキャリア形成を目指していく活動、「キャリアに拓く」を実施しています。2年生の活動の様子を紹介します。

地域学部、農学部、工学部の先生の研究室を知り、その中から子供たち自身が興味をもった研究室を選び、訪問しました。インタビューをして、先生方の研究の内容やこの仕事をされようと思ったわけなどを詳しく教えていただき、研究の一端を知ることができました。

## 住みやすい街づくりについての研究の先生

みんなが暮らしている国や町の様子を知り、よりよくするための方法を研究されていることを聞きました。どうすれば日本の町は住みやすくなるのか、外国の町の取組みから、よいところを取り入れながら教えておられることや、手掛けられた身近な施設や今までに訪問されて国の様子についてお話を聞かせていただきました。これまで訪問された外国の写真をを見せていただき、その国の特徴や外国と日本との違いも学ぶことができました。



## 理科についての研究の先生

仕事の内容について、教育に関すること、研究に関すること、社会貢献に関する話をしていただきました。実験室に入り、色々な実験装置や実験器具を見せていただき、子供達は関心を高めていました。紫キャベツを使った水溶液を調べる実験を一人一人が体験して、液体の色が変化することでどの液体かを判別することができることに驚き、実験の楽しさを感じることができました。



## 音楽についての研究の先生

大学での仕事や、貝がらぶしの研究についてのお話、日本と外国の音楽の違いについてのお話をお聞きしたり、研究されていて難しいことは何かなどの質問に答えていただいたりしました。また、大学生のフルート演奏を聞かせてもらうことで、生の楽器のよさを味わうことができました。先生のピアノ伴奏で歌ったり、みんなで「かえるのうた」をベルで演奏したりして、音楽の楽しさを十分に学ぶことができました。



## 英語についての研究の先生

先生がされている研究や、研究を始めたきっかけなどについて、話を聞かせていただきました。翻訳アプリがあれば外国語がわからなくてもコミュニケーションがとれることを教えていただき、子供たちは驚いていました。しかし、いくらアプリを使っても完璧ではなく、正しい文法かどうかを判断する英語力が必要であるということも教えていただき、今後の英語学習への意欲につなげることができました。



## 考古学についての研究の先生

鳥取砂丘から見つかった土器についてお話をさせていただきました。昔の人たちの暮らしについて、子供たちはとても驚いていました。また、たくさんの破片の中から同じ土器であろう物を組み合わせるパズル体験をさせていただきました。鳥取大学の中にも3つの古墳があると聞き、自分の身近なところにも、昔の暮らしを知るいろいろな手がかりがあることが分かりました。



## 土壌動物、特にダンゴムシ・ワラジムシについての研究の先生

研究を始められたきっかけや、生物についてのいろいろなお話を聞かせていただきました。子供たちは特に、世界中で生き物が何種類いるか、新種を発見したときには自分の名前や研究でお世話になった人の名前を付けることができることなどの話に関心をもって聞いていました。実際に顕微鏡で「マダニ」を観察したり生物の標本を見たりしながらお話を聞くことで、より関心が深まりました。



## 細菌についての研究の先生

普段見えない小さな世界についてお話を聞かせていただきました。マイクロスコープを使って身の回りの物を観察させてもらい、千円札に模様があることや洋服の繊維が折り重なっている様子を観察することができました。また、細菌の世界は小さくて、顕微鏡を使って実験されているお話を聞いたり、短時間に増殖していく細菌の様子を見せてもらったりして、子供達は驚いていました。日常生活で見ることのできない細菌の世界を覗いて、興味、関心をもつことができました。

